



社会福祉法人 with free
リリース前記念セミナー

2018.03.26-29



税理士法人ゆびすい チーフ

野口 貴彦

Takahiko Noguchi

2001年 ゆびすいグループに入社。

同年、社会福祉法人向け会計業務開始に伴い、
営業メンバーの一員として顧客獲得に参画する。

2017年より、本プロジェクトの企画・立案を行っている。

ユーザー様が、バックオフィスの効率化を実現できる利用価値
のあるシステムを提供できるよう心がけております。



税理士法人ゆびすい リーダー

増口 敦彦

Atuhiko Masuguchi

2004年 ゆびすいグループ入社。

入社時より社会福祉法人向けサービスに従事。

Company Profile

会社名

税理士法人ゆびすい

設立年月日

1946年(昭和21年)4月

代表社員

澤田 直樹

従業員数

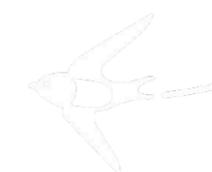
258名(グループ計)

グループ拠点

本社(堺)、大阪、東京、仙台、
名古屋、和歌山、岡山、福岡

グループ会社

指吸会計センター株式会社
司法書士ゆびすい登記センター
行政書士法人ゆびすい
社会保険労務士法人ゆびすい労務センター
株式会社ゆびすいコンサルティング
株式会社ゆびすいホールディングス



ゆびすいグループの社会福祉法人向けサービスの取り組み

1975年(昭和50年)学校法人会計支援を開始
弊社の特徴である公益法人むけのサービスの基礎となる。
幼稚園運営法人が中心であったため、その後の保育園支援へつながる。

2000年(平成12年)より社会福祉法人会計支援へ
保育所を運営法人を中心に関与。



指吸会計センター株式会社

税理士法人ゆびすい

社会保険労務士法人ゆびすい労務センター

行政書士法人ゆびすい
司法書士法人ゆびすい登記センター

- 社会福祉法人とは「社会福祉事業を行うことを目的として、法律の定めるところにより設立された法人」と定義

①児童福祉事業



②老人福祉事業



③障がい者福祉事業



社会福祉法人数の推移

(各年度末現在 単位:法人)

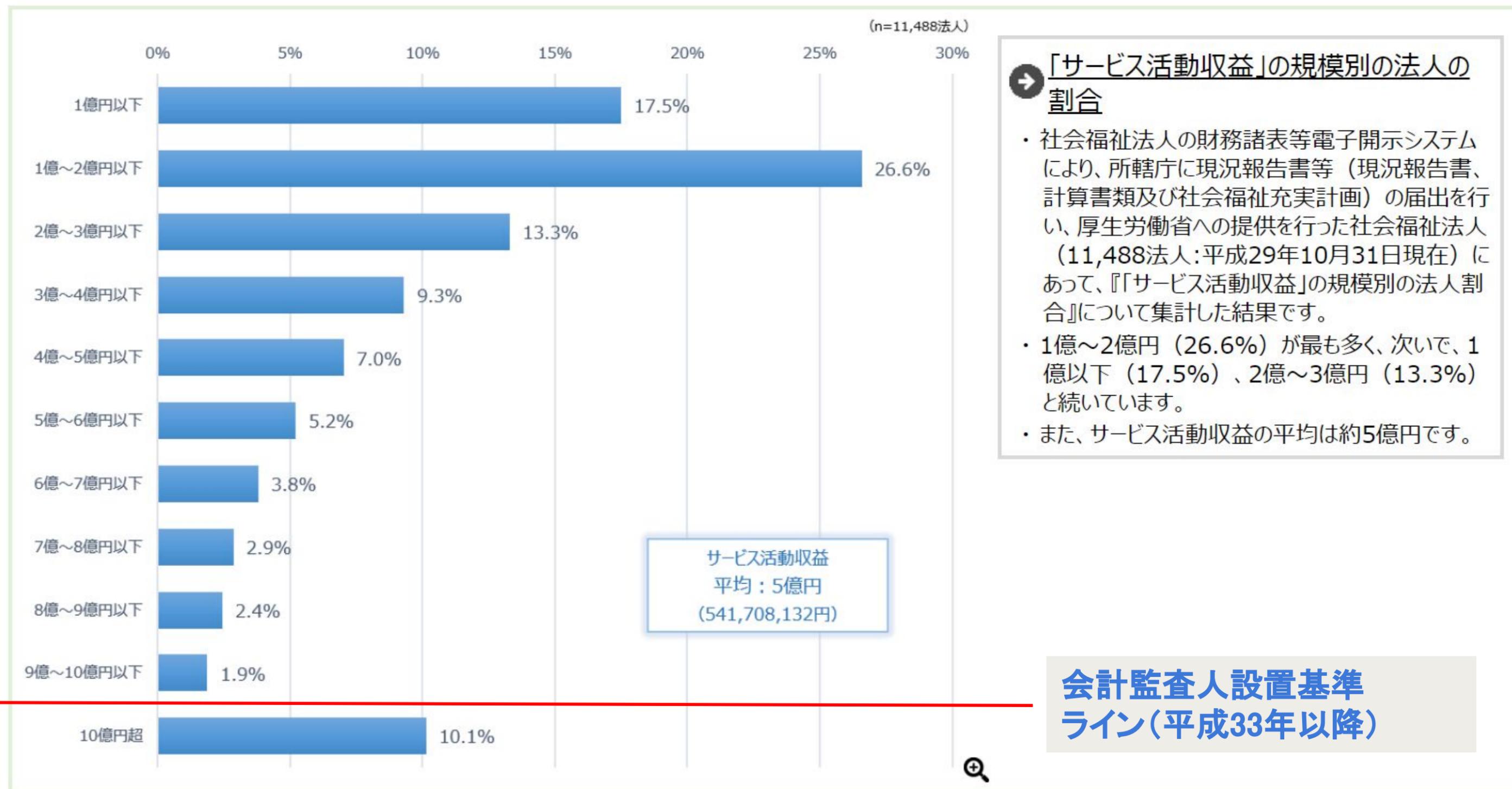
	平成2年度	平成12年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成24年度の対平成2年度増減	
						増減数	増減率(%)
総数	13,356	17,002	18,658	19,246	19,407	6,051	45
社会福祉協議会	3,074	3,455	1,846	1,846	1,901	△1,173	△38
共同募金会	47	47	47	47	47	0	0
社会福祉事業団				133	131	26	25
施設経営法人				6,842	16,981	6,910	69
その他				323	347	288	488

全国で約20,000法人あります。
ちなみにNPOは50,000、宗教法人で200,000、学校法人で8,000とされています。

※厚生労働大臣及び地方厚生局長所

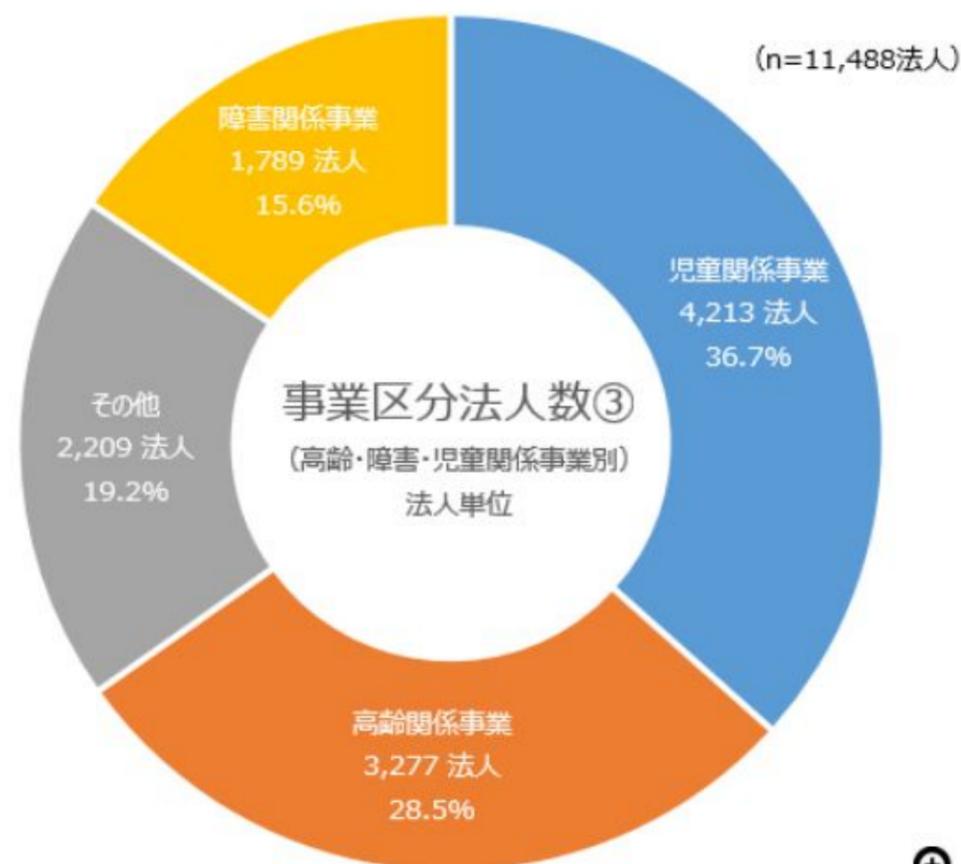
出典:「社会福祉行政業務報告」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

2-1.「サービス活動収益」の規模別の法人の割合



法人単位*中心となる事業分野で区分

区分	法人数
高齢関係事業	3,277
障害関係事業	1,789
児童関係事業	4,213
その他	2,209
合計	11,488



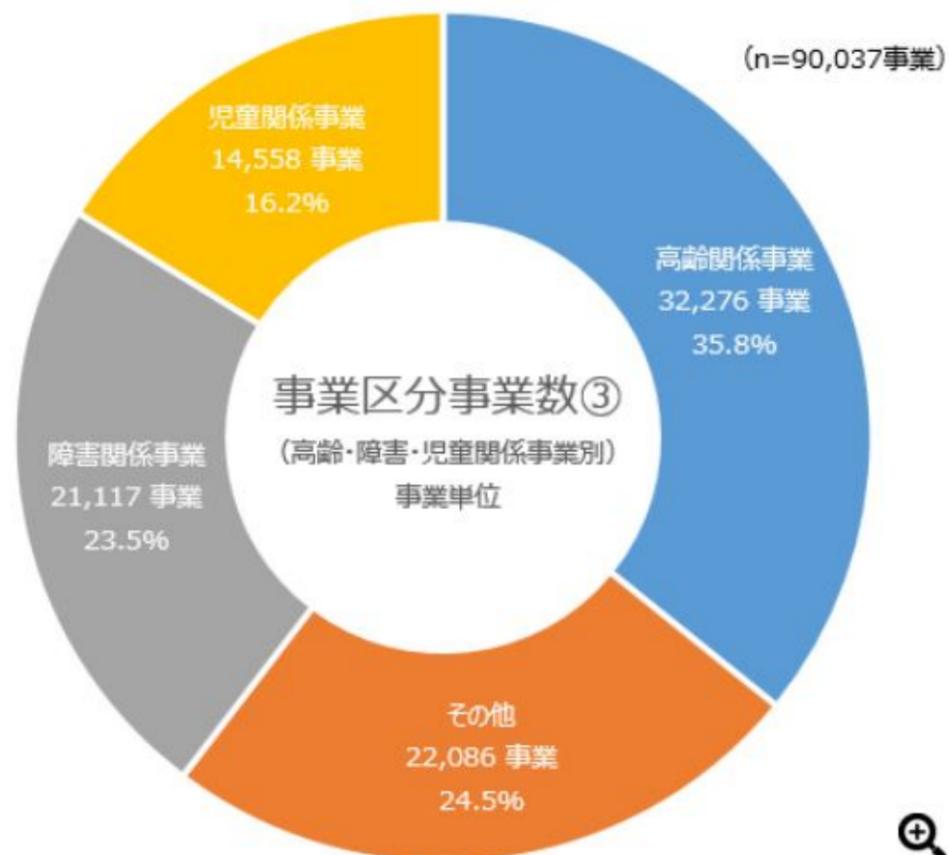
➔ 事業区分別法人数・事業数③（高齢・障害・児童関係事業別）法人単位

- ・社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムにより、所轄庁に現況報告書等（現況報告書、計算書類及び社会福祉充実計画）の届出を行い、厚生労働省への提供を行った社会福祉法人（11,488法人：平成29年10月31日現在）の法人数を「事業区分別（高齢・障害・児童関係事業別）」に集計した結果です。
- ・児童関係事業を実施している法人（4,213法人）が最も多く、次いで、高齢関係（3,277法人）、その他（2,209法人）、障害関係（1,789法人）と続いています。

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム集計結果より

事業単位

区分	事業数
高齢関係事業	32,276
障害関係事業	21,117
児童関係事業	14,558
その他	22,086
合計	90,037



➔ 事業区分別法人数・事業数③（高齢・障害・児童関係事業別）事業単位

- ・社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムにより、所轄庁に現況報告書等（現況報告書、計算書類及び社会福祉充実計画）の届出を行い、厚生労働省への提供を行った社会福祉法人（11,488法人：平成29年10月31日現在）の法人が行っている事業を「事業区分別（高齢・障害・児童関係事業別）」に集計した結果です。
- ・高齢関係事業を行っている事業（32,276事業）が最も多く、次いで、その他（22,086事業）、障害関係（21,117事業）、児童関係（14,558事業）と続いています。

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム集計結果より

開発の動機・経緯

2001年～：社会福祉法人向けの業務開始に伴い社会福祉法人会計ソフトを制作。

2012年～：現行のEX版をリリース

その後、毎年、改良を繰り返し利便性を高めていく。

入力の省力化が課題であった。

社会福祉法人向けのソフトには、クラウドやAIが少ないがニーズはでてくる。

ゆびすい単独でのクラウド化も検討したが、自動仕訳等のAI技術は難しいと判断。

2016.4: freee認定アドバイザーとなり、会計freeeの顧問先向けに導入開始。

2016.10: 社会福祉法人向けの会計ソフトをつくることをfreeeさんに打診

2017.1: 両代表者が開発に合意。

2017.4: レポートシステムを制作しAPI連携で会計freeeと連動する提案頂く。

2017.10～：開発開始。



freeeさんのクラウド会計フリーと連携技術を活かし、
ゆびすいの社会福祉法人会計の知識を活かすことで、ユーザー様だけでなく会計事務所様も
利用価値のあるシステム開発を進めています。

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

ある顧問先での事例



特別養護老人ホーム



各拠点の担当者が会計システムに入力



介護老人保健施設



小口現金は、拠点やホームごとにある



障害者グループホーム



資金繰りがきびしい拠点も



保育園



会計事務所側の担当者も複数人関与

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

お悩み一例の紹介

- 経理専門のスタッフが少ない？ 又は兼任でしている？
- 法人規模に関係なく、社福会計基準で会計処理をするので複雑。
- 施設数は増加しているが、拠点ごとにより事務処理がバラバラ。
- 拠点・サービス区分数が増えて、月次計算書の作成に時間を要する。
- 利用者は年々増加傾向で、債権管理が出来ていない。
- アナログ的な事務処理がまだまだ多い。
- 法律上は毎年行政監査があり、監査対応の負担感がある。



事業者様が日々の事務処理で困っていること・面倒だと思うことについて、「社会福祉法人with free」を導入することで軽減又は解決することができる。

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

- 経理専門のスタッフが少ない？又は兼任でしている？



経験値が浅いスタッフでも入力・登録がしやすい。

1. 取引登録から入力
2. 連続登録から入力
3. エクセルやCSVインポート



仕訳(区分)や登録の人的間違い

1. 「自動登録ルール」の活用
2. 「一括編集」の活用

- 法人規模に関係なく、社福会計基準で会計処理をするので複雑。

軽減又は解決策案



1. 社会福祉法人会計基準の変更があった際は、クラウドでその都度アップデート。
2. 減価償却費と国庫補助金・借入金償還補助金の取崩仕訳は自動計上
3. 「自動登録機能」の活用
4. 予算書の作成はレポートシステム

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

- 施設数は増加しているが、拠点ごとにより事務処理がバラバラ。
- 拠点・サービス区分数が増えて、月次計算書の作成に時間を要する。

軽減又は解決策案



1. 拠点数が多くても、クラウドであるのでネット環境さえあればどこでもつながる。
2. 分散入力ができる。
小口現金をサービス区分ごとに各出納責任者が登録。
どの拠点でも同じフォーム、決めごとで会計処理が行うことができる
3. 「自動で経理」の活用。
ネットバンキング利用事業所も増えてきている。
4. 拠点間内の共通経費は「配賦ルール」を活用。
5. 「権限設定」の活用で拠点ごとにアカウントは不要。
6. 一括管理ができる。
管理者は各拠点を一括管理ができ、集計の合算作業もなくなる。
7. バージョンアップは不要。

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

- 利用者は年々増加傾向で、債権・債務管理があまり出来ていない。
- アナログ的な事務処理がまだまだ多い。

軽減又は解決策案

債権管理



1. freeeの請求書を活用。又は他のソフトからCSVインポート。
2. 入金時は「請求書の一覧」「自動で経理」「取引の一覧」から消込。

債務管理



1. 業者支払のエクセル集計表等に会計freeeに取引インポート
2. 取引インポートから振込。
3. 現金主義から発生主義に移行しやすい

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

- 法律上は毎年行政監査があり、監査対応の負担感がある。

軽減又は解決策案



1. 承認機能
2. ファイルボックス等のスキャン機能の活用
3. スキャンした書類は仕訳に「ファイル添付」

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

- 導入にあたっての準備

法人の経理体制の整備

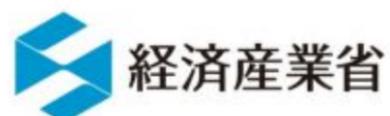


1. ネットバンキングの利用
2. 規程の改定
3. クレジットカードの利用の課題

社会福祉法・社会福祉法人会計基準により電
磁的記録による作成も可能

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

保育現場でもICT化のながれ



保育現場のICT化・自治体手続等標準化等 について (事務局説明資料)

経済産業省

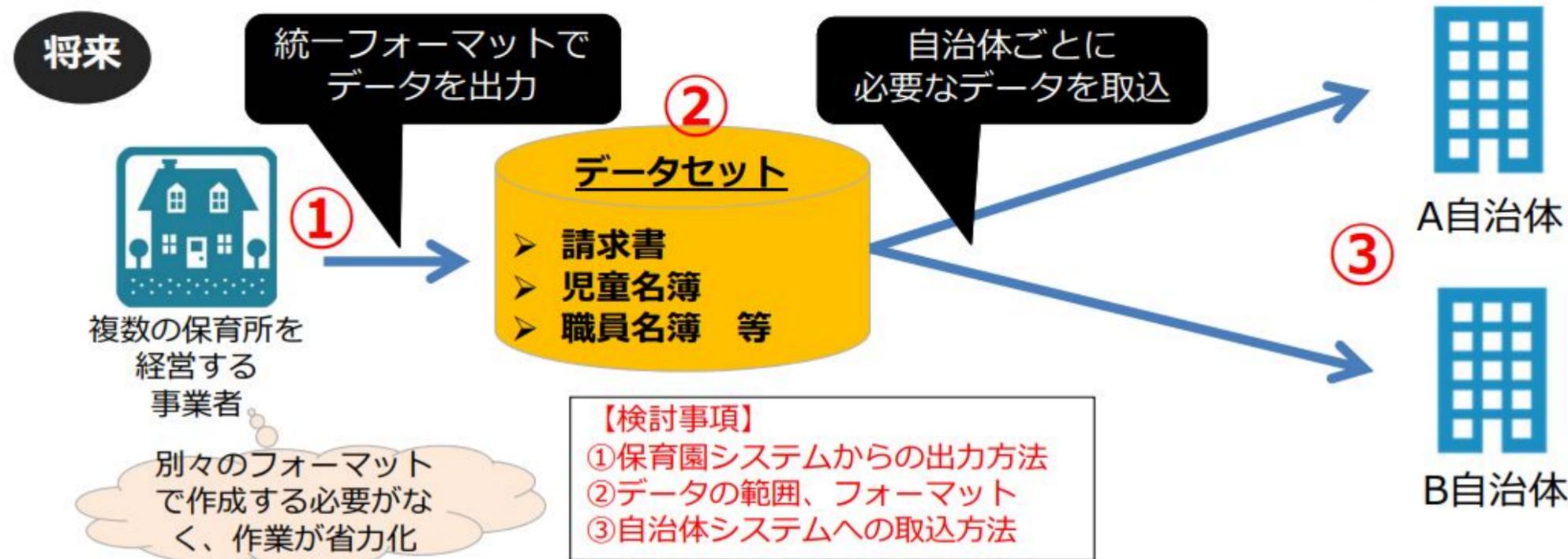
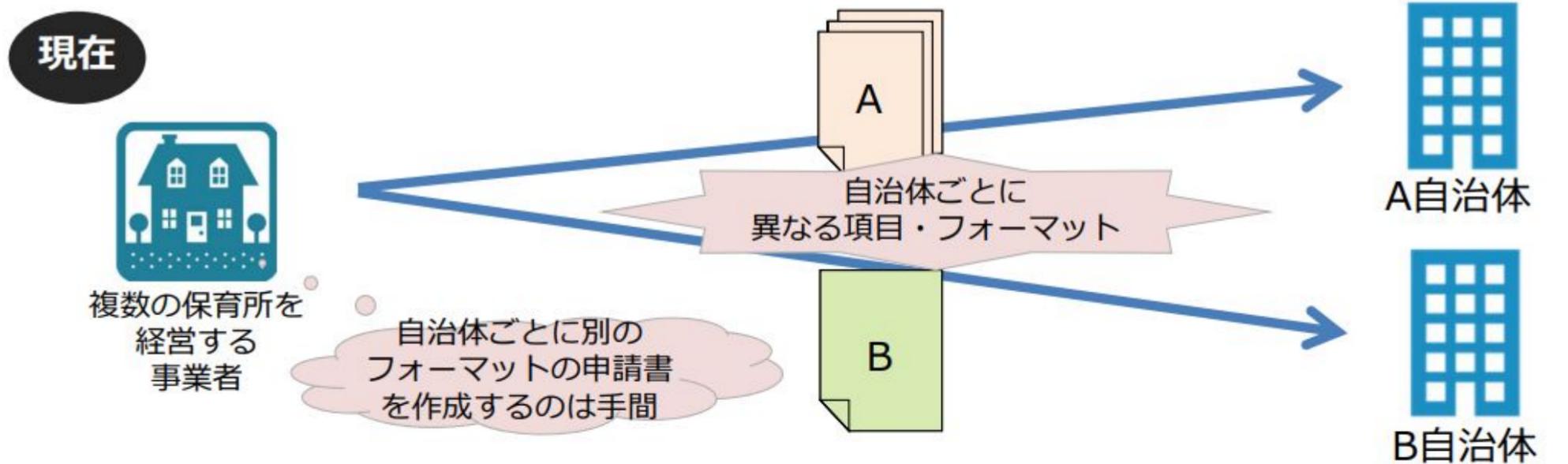
商務・サービスグループ

サービス政策課 教育サービス産業室

社会福祉法人のバックオフィスが抱える問題

行政手続きがオンライン化されれば、データ連携の可能性がひろがる

自治体手続のICT化・標準化のイメージ





社会福祉法人 with freee



free株式会社 プロダクトマネージャー

高木 悟

Satoru Takagi

2011年～

新日本有限責任監査法人にて会計監査・内部統制監査に従事

2014年～

free 株式会社に入社

現在はプロダクトマネージャーとして、新商品や各種施策の企画・運用に携わっている

本プロジェクトではfree側の開発担当として、2017年より参画

仕様の策定・実装・テストといった全行程に携わっている

ゆびすい様と二人三脚で全国の社会福祉法人様のバックオフィス業務を効率化出来るように邁進しております。

アジェンダ



1. 社会福祉法人 with freeの全体像

2. 機能一覧

3. 初期設定

4. 日々の入力

5. 月次

6. 決算

7. 今後について

The screenshot displays the main dashboard of the 'free' software. At the top, there is a navigation bar with a home icon, menu items for '会計freeデータ連携', 'レポート', '予算', '決算', '設定', 'チェックリスト実行', and '会計freeへ', and a search bar labeled 'ヘルプ検索'. The main content area is divided into several functional blocks:

- レポートを確認する**: 会計freeデータ関連の帳票出力
会計freeからデータ連携を行った仕訳の帳票を出力できます
- 決算関連の入力・出力を行う**: 決算・予算注記入力
注記入力と決算書の出力ができます
- チェックリストを実行する**: 仕訳データのチェック
会計freeで入力された仕訳データが正しいかのチェックができます
- 予算の入力・出力を行う**: 予算の入力・出力
レポートシステムにて予算の入力と帳票を出力できます
- 設定を行う**: 各種設定
会計年度の設定、ログイン設定、バックアップなどができます
- 会計freeからのデータ連携**: 会計freeからの仕訳データ連携
会計freeで入力された仕訳データ、マスターデータの取り込みができます

本日のセミナーのご留意点について

①現在、開発・テスト中になるため、画面が変更になる可能性がございます。

※大きく仕様変更になる可能性はほぼございません

②個別のご質問については、この後に予定しております、個別相談会をご活用ください。

③リリース前の情報を先行して公開しておりますので、本資料のSNS等への公開はご遠慮ください。



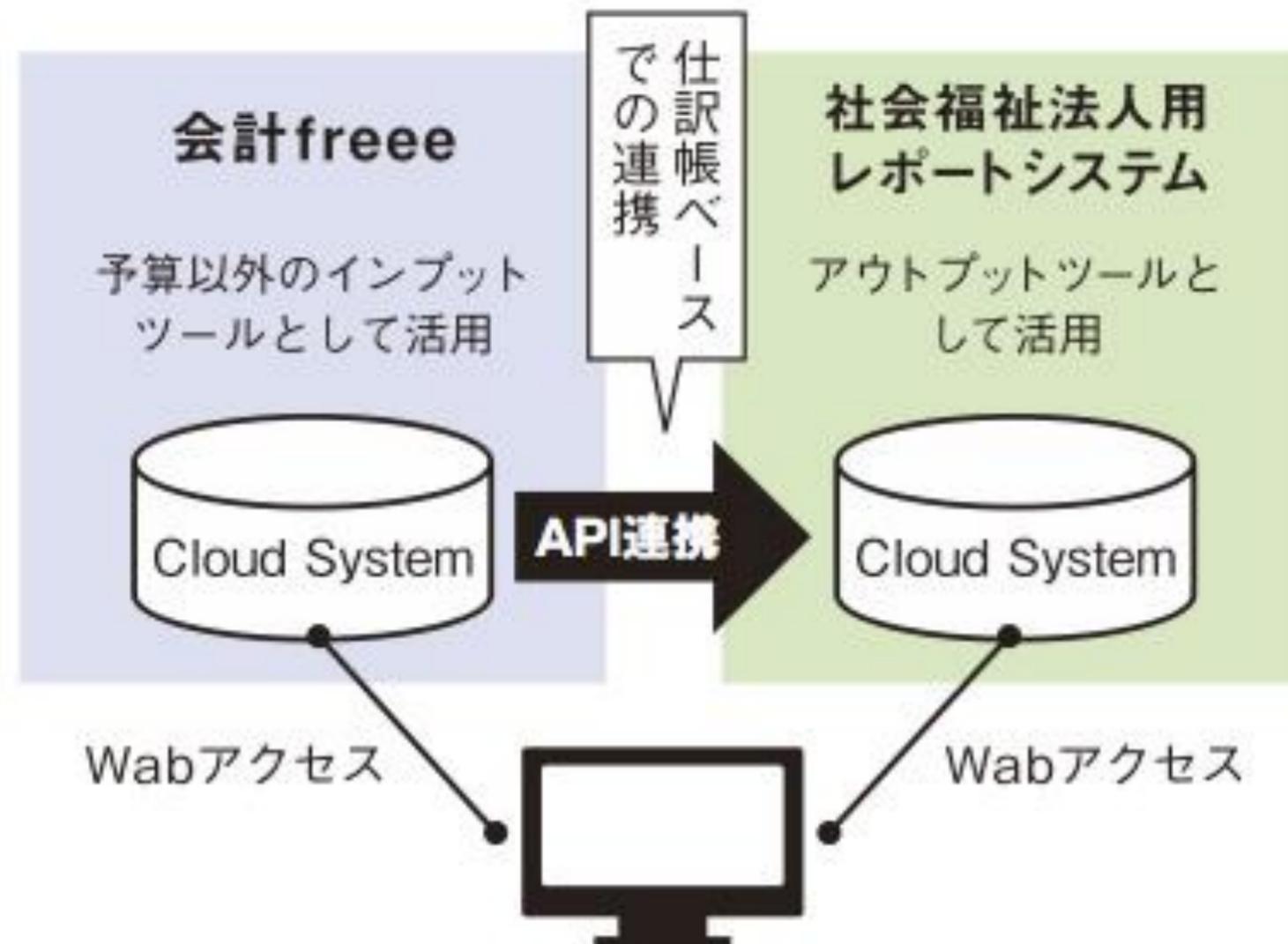
Section
01

「社会福祉法人 with free」の全体像

全体のデータ構成



会計freeはインプットツール、社会福祉法人用レポートシステムはアウトプットツールとして活用。
仕訳帳を起点として、APIで相互を自動連携することでシームレスな操作感を実現
「社会福祉法人 with free」(略称: 社福free)は会計freeとレポートシステムの2つを組み合わせたものになります。



APIについて



プレスリリース 2015-02-19 ツイート いいね! シェア

クラウド会計ソフト free が API を正式公開。free の様々なデータの照合・登録が可能に。～ free 公式の連携プラットフォーム「free Apps」提供開始～



会計帳簿



分析レポート



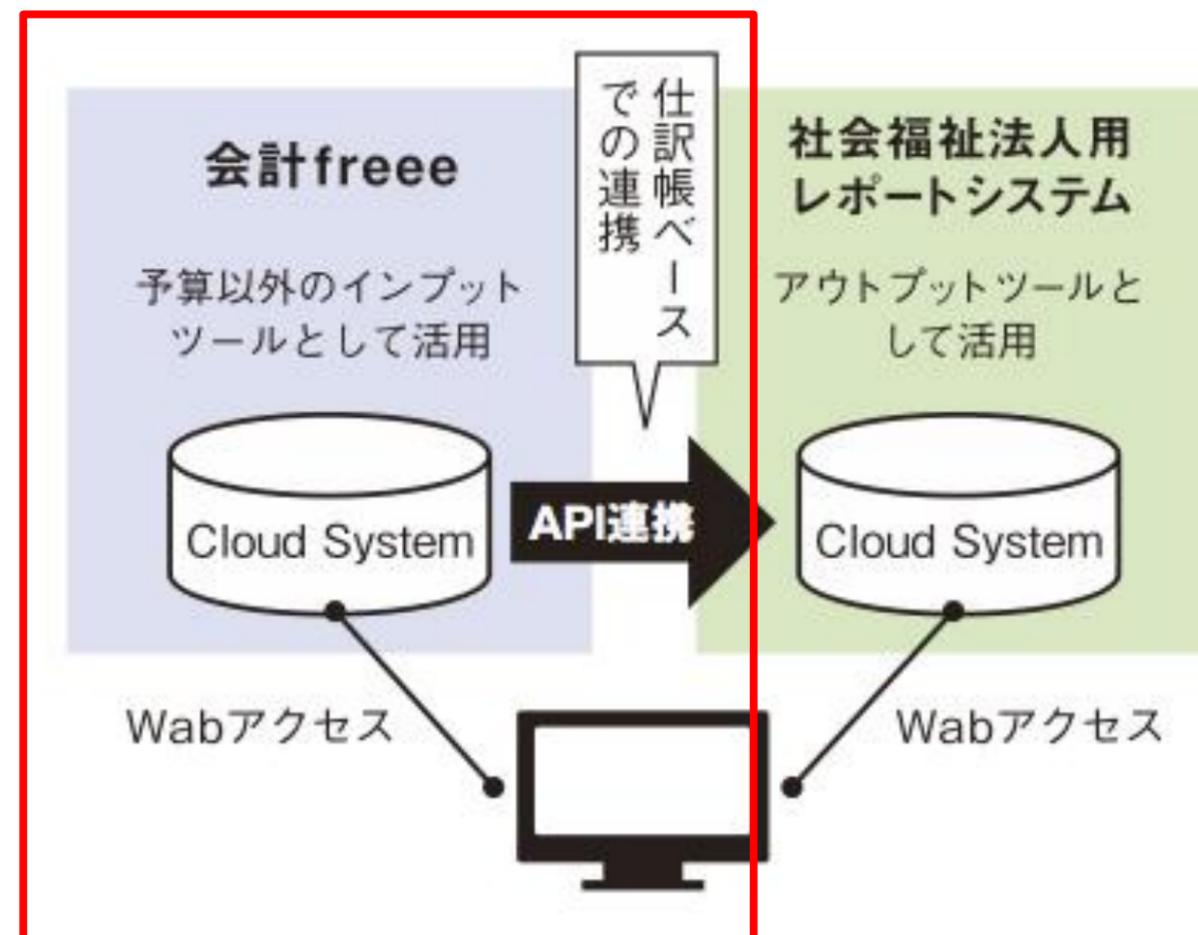
2つのシステムをシームレスにWeb上で連携させることが可能

会計freeで行うこと



1. Googleアカウントでログイン
2. 各種情報の初期設定
3. 口座の作成
4. 取引(=仕訳)の入力
5. 固定資産の登録
6. 年度締め

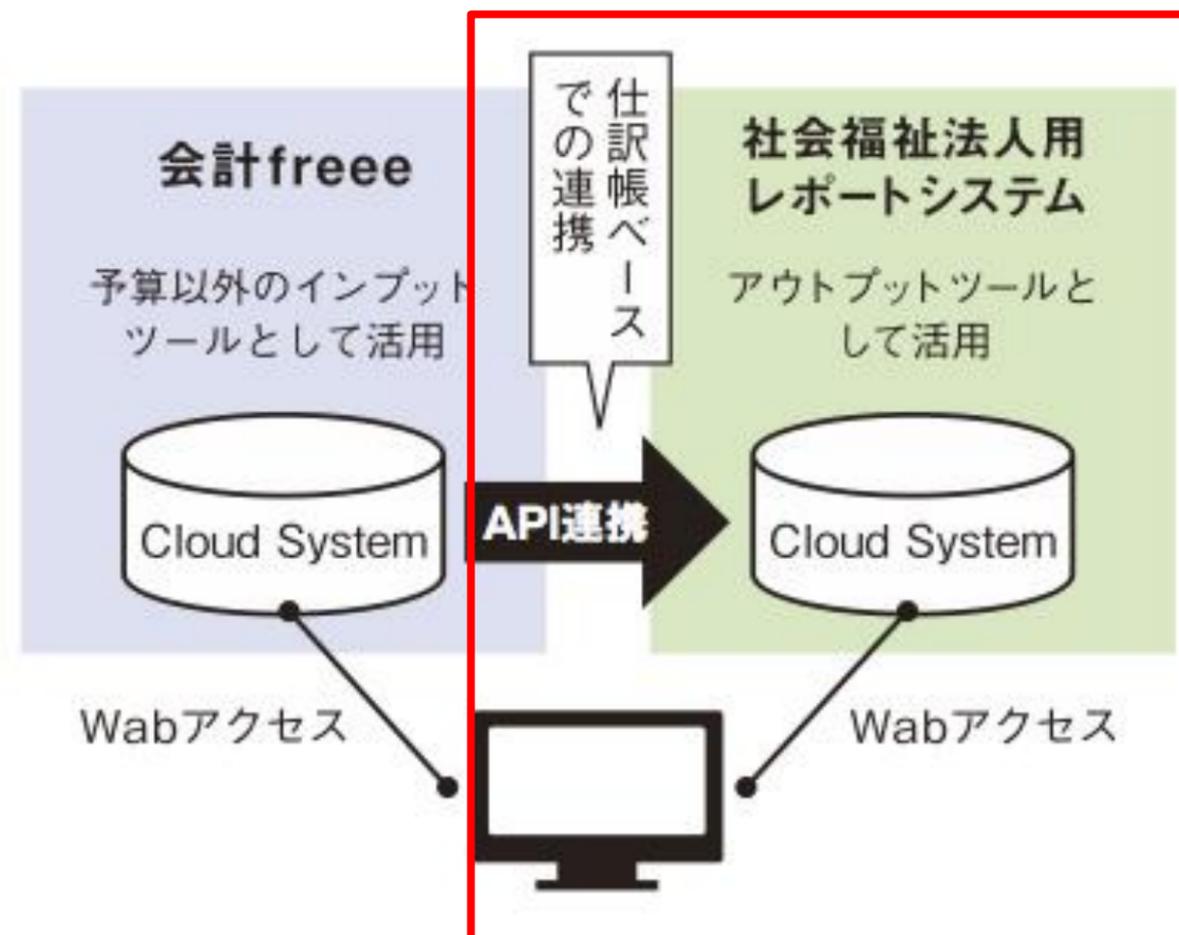
※予算に関しては入力情報ですが、例外的にレポートシステム側で行います



レポートシステムで行うこと



1. Googleアカウントでログイン(会計freeとはシングルサインオン)
2. 会計freeとAPIで連携
3. 社福特有の特殊な設定を行う
4. 予算の入力
5. 仕訳日記帳・総勘定元帳等を利用し、数字の確認(社福用の仕訳に自動で置換されます)
6. 各種月次処理や決算処理
7. 年度締め





Section
02

機能一覽

「社会福祉法人 with free」機能一覧



API連携



勘定科目
取引先
部門
仕訳日記帳
内部取引相殺消去

帳票



会計伝票
総勘定元帳
仕訳日記帳
貸借対照表
事業活動計算書
資金収支計算書
固定資産明細表
各種決算書

設定



基本情報設定
区分設定
承認設定
勘定科目設定
権限設定
年度締め
バックアップ・リカバリー
各社形式のインポート・
エクスポート

予算



入力(当年・補正・翌
年)
予算書出力

チェックリスト



仕訳チェック
予算・繰越状況チェック

その他出力



電子開示システムへの
CSV出力
各種PDF・Excel



Section
03

初期設定

Googleアカウントでのログイン設定



freeアカウントでログイン

satoru@freee.co.jp

.....

ログイン

パスワードを忘れた方はこちら

他のアカウントでログイン



Google アカウントでログインする



Facebook アカウントでログインする



Microsoft アカウントでログインする



Office365 アカウントでログインする

社会福祉法人会計レポートシステム

事業所を選択してください

プロフェッサ12 事業所で利用する

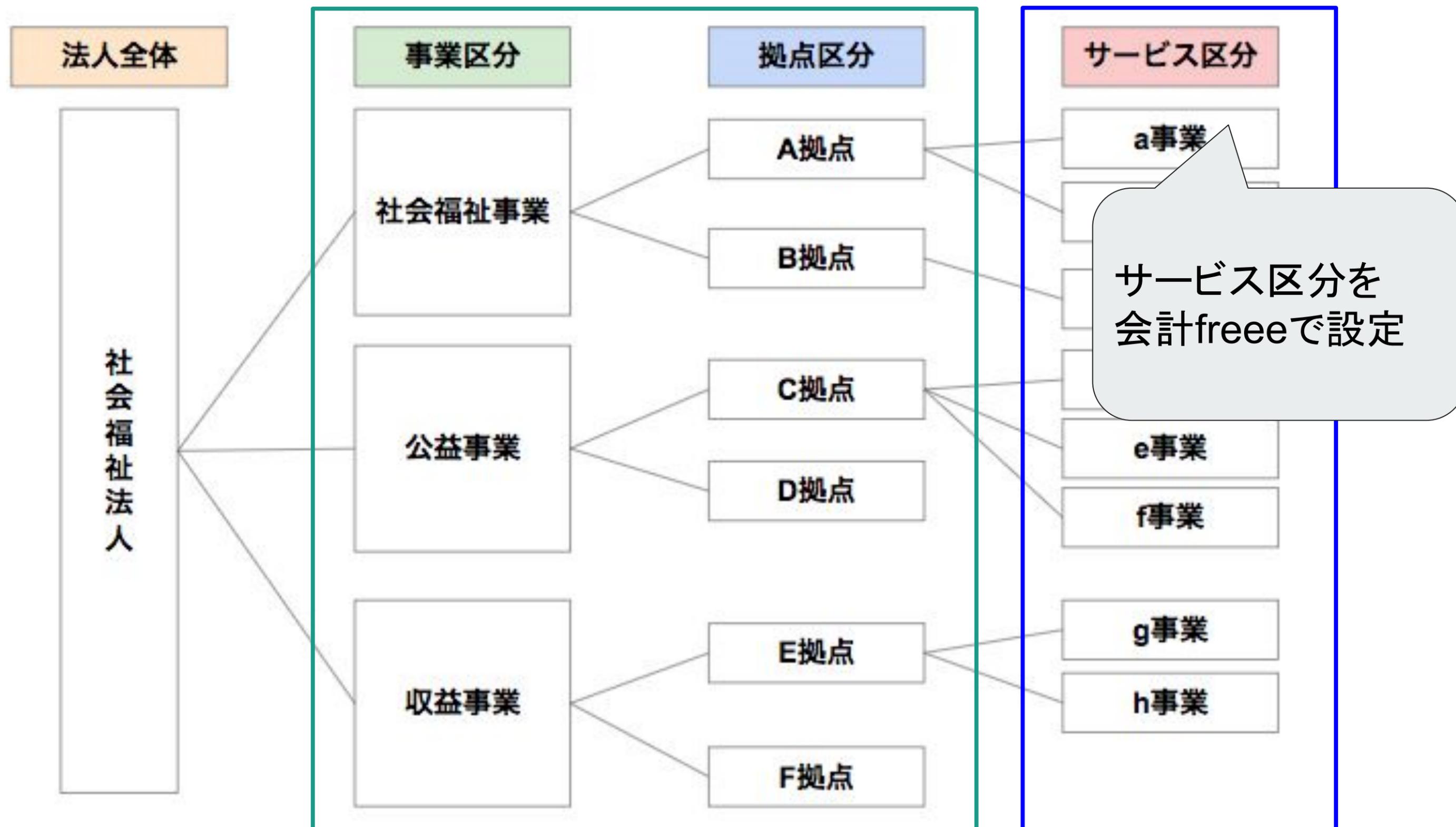
プロフェッサ 事業所で利用する

freeでGoogleアカウントでのログインを行う

その後、レポートシステムにはfreeのログインに利用したGoogleアカウントでログインすることで、両者の紐付けが行われる。

一つのGoogleアカウントでシングルサインオンを実現しています(両方でそれぞれログインし直していただく必要はございません)

部門の設定



期首残高の設定・口座の登録



①期首残高は部門の入力が必要になるため、「開始残高」ではなく、前年度末の日付で「振替伝票」から入力

②口座はfreeから登録。オンラインバンキングやクレジットカードを利用している場合は、通常通り同期設定していただいで問題ありません。



Section
04

日々の入力

日々の入力にあたって



取引テンプレート ? 取引テンプレートを検索

勘定科目はプリセットされている、社福用の勘定科目を必ず利用する

取引日 済済 完了 口座 ? 現金

目 必須 ? 介護報酬収益 金額 必須 ?

取引先 ? 品目・部門・メモタグ ? A x

必ず部門 (=サービス区分) を入力する

収入を登録 詳細登録 ?

日々の入力にあたっては、下記の3点に留意する

- ①勘定科目は社福用の勘定科目を必ず利用する(API連携するとプリセットがなされ、一般用の勘定科目は利用オフになります)
- ②必ず部門 (=サービス区分)を入力する。
- ③難しい仕訳の入力が必要な場合は、全て「振替伝票」から入力する(柔軟に仕訳形式で入力することが可能です)

訂正仕訳について



発生日 **必須** 2016-07-12 日常仕訳 決算整理仕訳 **貸借入替**

借方		貸方		
勘定科目 取引先・品目・部門・メモタグ	金額 税区分・税額	勘定科目 取引先・品目・部門・メモタグ	金額 税区分・税額	備考
<input type="text" value="Q 勘定科目"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="Q 勘定科目"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>
<input type="text" value="Q 取引先・品目・部門・メモタグ"/>	課税売上8% <input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="科目訂正 タグの使い方"/>	課対仕入8% <input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>
借方合計		貸方合計		
金額 0円 税額 0円		金額 0円 税額 0円		

ご注意：振替伝票は売掛・買掛レポートには反映されません。債権・債務データの登録は取引登録をお使いください。

登録

月次での締めが終了後に修正が必要な仕訳が必要になった場合は、マイナスで入力するのではなく、振替伝票から訂正仕訳を入力する。

訂正仕訳用の振替伝票テンプレートをご用意いたしますので、そちらをもとにご利用ください。



Section
05

月次

月次での流れについて



Home 会計freeデータ連携 レポート 予算 決算 設定 チェックリスト実行 会計freeへ

レポートを確認する

 会計freeデータ関連の帳票出力
会計freeからデータ連携を行った仕訳の帳票を出力できます

予算の入力・出力を行う

 予算の入力・出力
レポートシステムにて予算の入力と帳票を出力できます

決算関連の入力・出力を行う

 決算・予算注記入力
注記入力と決算書の出力ができます

設定を行う

 各種設定
会計年度の設定、ログイン設定、バックアップなどができます

チェックリストを実行する

 仕訳データのチェック
会計freeで入力された仕訳データが正しいかのチェックができます

会計freeからのデータ連携

 会計freeからの仕訳データ連携
会計freeで入力された仕訳データ、マスターデータの取り込みができます

- ①月次処理の前に最新の状態に連携されているか確認します(念のため、レポートシステム側の連携実行ボタンを押しておきます)
- ②レポートシステム側でチェックリストを実行し、問題なければ月次帳票を確認します

チェックリストについて



仕訳チェックリスト状況（会計期間の月ごと）

年月	予算	仕訳	本数	前回本数	チェックリスト動作最終処理日	実行者
2018年3月	無し	OK	1		2018-03-19 16:33:25	satoru@c-fo.com

開始及び予算繰越状況チェック（サービス区分ごと）

サービス区分名称	サービス区分コード	開始残高	前年度	当初予算	予備費	流用	補正	翌年度
A		無し	OK	OK	OK	OK	OK	OK
B		無し	OK	OK	OK	OK	OK	OK
C		無し	OK	OK	OK	OK	OK	OK
D		無し	OK	OK	OK	OK	OK	OK

[戻る](#)

会計freee側でもし誤った仕訳を入力していた場合に、レポートシステム側で検出を行うことが出来る、チェックリスト機能を設けています。例えば下記の仕訳を検出が可能です。

- ①社福用の勘定科目以外を利用している
- ②部門を入力出来ていない

固定資産台帳について



仕訳（今期）

取引日	区分	摘要	借方			貸方		
			勘定科目	金額	税区分	勘定科目	金額	税区分
2017-12-31	償却	テスト____, 保育園園舎	減価償却費	7,869,826	対象外	建物（基本財産）手動	7,869,826	対象外
2017-12-31	償却	テスト____, 国庫補助金等特別積立金の積立(借入償還補助金分)	国庫補助金等特別積立金積立額	1,162,000	対象外	国庫補助金等特別積立金	1,162,000	対象外
2017-12-31	償却	テスト____, 国庫補助金等特別積立金の取崩(国庫補助金分)	国庫補助金等特別積立金	4,811,723	対象外	国庫補助金等特別積立金取崩額	4,811,723	対象外
2017-12-31	償却	テスト____, 国庫補助金等特別積立金の取崩(借入償還補助金分)	国庫補助金等特別積立金	1,595,009	対象外	国庫補助金等特別積立金取崩額	1,595,009	対象外

事業所の設定で「社福用の固定資産台帳機能」をオンにした際に、下記2つに会計freeeの固定資産台帳が対応。取り崩しの仕訳も自動計上

- ①国庫補助金
- ②借入償還補助

固定資産台帳はCSVでエクスポートし、レポートシステムにCSVでインポートする。



Section
06

決算

決算での流れについて



Home 会計freeデータ連携 レポート 予算 **決算** 設定 チェックリスト実行 会計freeへ

決算・予算注記入力

ヘルプ 保存

書類指定

書類I 計算書類

書類II 全体用

書類III 資金収支内訳表

表示

エクセル

- ①決算処理は全てレポートシステム側で行う
- ②内部取引相殺消去はレポートシステム側で自動計上を行います
- ③決算機能自体は7月頃のリリースを予定



Section
07

今後について

今後のリリース計画・サポート体制



リリース計画について

2018年4月

→決算機能以外のリリースを予定しております。

※テスト状況によってはリリースの遅延の可能性がございますので、ご了承ください。4月からすぐにfreeをご活用いただく場合は、個別にご相談を承ります。

2018年7月

→決算機能のリリースを予定。

クラウドサービスになるためリリース後も積極的にプロダクト改善に努めてまいります。
積極的にご要望・ご感想をお寄せください！

サポート体制について

ご購入後は、会計free内から、チャットサポート・メールサポートをご利用いただくことが可能です。社会福祉法人に精通した専門のスタッフをご用意しております。



導入相談窓口のご案内

free導入に際し、お困りの点やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

 **TEL:03-6632-4556**

受付時間▶ [平日] 10:00~12:00 / 13:00~18:00

・お電話でまずご相談ください。個別にお見積・ご導入にあたってのご相談を承ります。

→東京・大阪・名古屋・福岡に支社がございます。

・他社ソフトからの乗換について、全てを承ることは出来ませんが、個別にご相談に応じることが可能です。

社会福祉法人に携わる
すべての人が「創造的な活動」に
フォーカスできるよう

